

京劇は、中国において、二百年以上の伝統を持ち、大衆の娯楽として歴史を重ね現代においても、根強い人気を持ち続けております。『京劇青少年劇場』はこのような「京劇」鑑賞の機会を日本の若い世代にも広げ、日中友好の心を次代につなぐ事を念願して企画されました。

この度の第5回は、上海市戯曲学校の優秀な生徒達から選抜された若々しい公演団を迎えることになりました。若い肢体に開花する見事な伝統芸は、華美にして新鮮な舞名をくり広げます。

演目紹介……

★ 雁蕩山

隋朝後期、武将の孟海公は民衆を率いて蜂起しました。隋朝の將軍賀天龍はこれにかなわず雁蕩山に逃げ込みます。孟は軍を率いて追撃し、夜戦で敵軍をいためつけ、賀は敗れて湖に落ちのびますが、孟は追いつめられて湖での戦いとなります。

劇は、“陸の闘い”“水中の闘い”“城壁の闘い”と三つの場面で展開され、若い出演者は、彩やかなアクロバットで見事な追撃戦を一気呵成に演じます。



ある日孫玉嬌が家の前で刺繍をしていると若者の傅明が通りかかり、2人は一目見てお互いに心を魅れてしまいます。

傅明は心の証に門口に玉の腕輪を落とし様子をうかがいます。腕輪を見つけ喜んだ娘は、こっそり拾おうとしますが、お節介な隣のおばさんに見つかってしまいます。仕方なく娘は気付かれないように腕輪を戻します。いじらしい恋の企みをきめ細かいパントマイムで披露します。

★ 拾玉鐲



★ 三岔口

宗の時代。悪だくみにはまって流刑囚となった武将・焦贊は、護送役人に連れられて、三岔口の宿に泊まります。

その焦贊を助けだそうとして、密かにつけてきた任堂恵は、宿の主人・劉利華を、敵の刺客と疑い、2人の格闘が始まります。果たして誤解は溶けるのでしょうか。

舞台は真つ暗闇の設定。セリフなしで、死と紙一重の立回りが展開されます。

京劇の立回りの名作といわれる作品です。



★ 琵琶独奏

● 民族舞曲 ● 桜 ● 阿波舞曲

● 上海市戯曲学校

上海市戯曲学校は、1954年に設立された中国における最大級の戯曲学校の一つです。

伝統的な京劇演技者の身体技の充実と進歩を目的としており、かつて名声を馳せた多くの京劇俳優が指導に当り、彼らが当り芸にした演技を若い生徒達に伝承させております。

上海市戯曲学校は過去30余年間に多くの主演俳優が巣立っており、豊富な海外公演の経験を持っております。今回来日するメンバーによる昨年のオーストラリア公演、今年5月の香港公演は絶賛を浴びました。

今日、京劇・昆劇の最高名優といわれる俞振飛は、この学校の名譽校長の席にあります。

上海からやって来た絶妙のアンサンブル